

ほけんだより

令和2年度 第5号

令和2年9月28日 練馬区立大泉第六小学校 保健室

暑かった夏が終わり、過ごしやすくなってきました。朝夕と日中との気温の差が大きく、体調をくずす児童が見られるようになってきました。

本校では現在のところ、手洗い・うがい・マスクの着用の感染予防の効果か、新型コロナウイルス感染症関連(発熱等の症状、感染予防)以外での出席停止者はいません。インフルエンザ流行時期に備えて、継続して感染予防にご協力をお願いいたします。

練馬区教育委員会では、感染症の状況を慎重に見極めつつも、可能な限り教育活動を充実させることを目的として、「練馬区立学校(園)のこれからの生活について」を作成しました。本校では、これに基づいて感染症予防・衛生管理を行っております。

その中からいくつか抜粋して、保護者の皆さまに改めてお願いいたします。



4 登校(園)の判断

- (1) 児童生徒等、本人に風邪症状がある場合はもちろん、その同居家族に発熱等の風邪症状がある場合にも、学校への登校を見合わせるようご協力をお願いします。その場合の出欠の扱いは「非常変災等児童・生徒又は保護者の責任に帰することができない事由で欠席した場合などで校長が出席しなくてもよいと認めた日」として扱います。指導要録上も「欠席日数」とはせず、「出席停止・忌引等の日数」として記録を行います。
- (2) 新型コロナウイルス感染症への不安により、お子様を休ませたい場合には、学校にご相談ください。地域で感染者が増えている、親族等に基礎疾患のある方がいる等、「保護者がお子様を欠席させる必要があると考えるに合理的な理由がある」と校長が判断する場合には、指導要録上「出席停止・忌引等の日数」として記録し、欠席とはしないよう柔軟な対応を行います。

6 ご家庭へのお願い 以下の点について、ご家庭でお子様にご指導ください。

- (1) 毎朝検温をしましょう。(ご家庭の皆様もご協力ください。)
- (2) 発熱等の風邪の症状がみられるときには無理をせずに自宅で休養しましょう。
- (3) 学校(園)への登校(登園)には、清潔なハンカチ・ティッシュ、マスク、マスクを置く際の清潔なビニールや布等を持っていきましょう。
- (4) 下校後や学校が休みの日にも、「換気の悪い密閉空間」「多数が集まる密集場所」「間近で会話や発声をする密接場面」を避けましょう。
- (5) 気温や状況に応じて、適宜マスクを外して活動するなど熱中症にも気を付けましょう。なお、マスクを外す場合には、互いの距離を保つなどの感染防止対策を行いましょう。

(「練馬区立学校(園)のこれからの生活について(令和2年8月)」より抜粋)

※登校の判断、学校への連絡について

上記にあるとおり、児童本人に風邪症状がある場合は決して無理をさせず、学校への登校を見合わせていただきますようお願いいたします。また、同居の家族の方に風邪症状がある場合は、たとえ児童本人に症状がなくても登校を見合わせるようご協力をお願いいたします。いずれの場合も欠席扱いとはなりません。

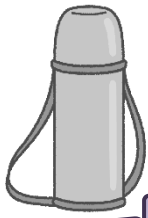
学校への欠席連絡(電話)の際には、欠席理由(発熱、咳、頭痛…等)を確実にお伝えくださいますようお願いいたします。

※PCR検査を受けた(受ける)場合の連絡について

風邪症状等で医療機関を受診した際に、医師の指示で、念のためPCR検査を受ける(受けた)というケースが発生しています。

そのような場合については、「受診に至った経緯や症状」「受診した医療機関」「検査(予定)日」「結果判明(予定)日」について、学校にご連絡くださいますようお願いいたします。





水分補給



水筒の衛生面のチェックを!

子どもたちが毎日使っている水筒にもカビが見られることがあります。洗剤を使わず「水だけでシャバシャバ洗う」だけではきちんと洗えていません。しっかりと汚れを落とすには、水筒やボトル用のスポンジに食器用洗剤をつけてしっかりと洗うことです。同時にしっかりと乾燥させることが大切です。乾燥が不十分だと、水から雑菌が繁殖してしまうからです。またキャップなどのパッキンにカビが付いていたら、**酵素系**漂白剤で浸けおきするか、パッキンの買い替えをおすすめします。1週間に一度は時間をかけた丁寧なお手入れをお願いします。毎日使う水筒だからこそ、きっちりお手入れして安全安心に使いましょう。

《ステンレス製水筒を使う際に注意すること》

- みそ汁・スープ・昆布茶**など、塩分を多く含んだものは、水筒内部のフッ素樹脂コーティングがはがれ、さびたり、保温・保冷性能が低下する原因になります。
- 牛乳・乳飲料・果汁**などは、成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は、腐敗によりガス発生し、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、中せん・コップ・せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。
- ドライアイス・炭酸飲料**などは、本体内の圧力が上がり、中せんやせんセットが開かなかったり、圧力によっては飲み物がふき出たり、中せん・コップ・せんセットなどが破損して、飛散することがあり危険です。
- 果肉・お茶の葉**などは、詰まる、漏れるなど故障の原因になります。
- スポーツドリンク**を入れる際には、対応の水筒かどうか確認する。対応していない水筒や、対応していても長年使用していると、水筒内部のフッ素コーティングがはがれて、**金属が腐食して金属中毒**になる可能性があります。

《やってはいけない洗い方》



☆金たわしを使用する

金たわしを使って、水筒をこすってしまうと、表面を傷つけるだけでなく、水筒内部の傷に汚れがたまり、そこから雑菌が繁殖する可能性もあります。水筒そのものの金属成分などが溶け出すおそれもあり、飲みものをいれるには危険です。

☆スポンジでこしこし洗う

スポンジで必要以上に強くこすすることもやめましょう。スポンジの硬いほうなどは、ステンレス製であっても水筒の中に小さな傷をつけてしまいます。見えない傷からカビが生えたり、汚れが溜まる原因にもなりますので、やさしく洗うようにしましょう。

☆食洗機で洗う

食洗機にに入れて洗えたら、一度に洗浄できて便利!とも思われがちです。でも食洗機は高温のお湯で洗浄するため、熱で水筒が変形し漏れやすくなってしまいます。さらに、本体ボトルの塗装がはがれるなど水筒を劣化させる恐れもあるので、大切な水筒は手洗いするのがよいでしょう。



☆塩素系漂白剤を使用する

塩素系漂白剤はサビ（本体内側・中せんスプリング）や、穴あき（本体内側）など故障の原因になります。

